久留米工業大学
KURUME INSTITUTE OF TECHNOLOGY

NEWS RELEASE

報道関係各位

令和 8 年 8 月 31 日

久留米･筑後地域初の工学系博士後期課程「先端融合地域共創工学専攻」を 2027 年 4 月に開設

～5 つの工学領域の知見を統合し、地域･産業の課題解決を担う高度人材を育成～



久留米工業大学（福岡県久留米市、学長：日野伸一）は、大学院工学研究科博士後期課程「先端融合地域共創工学専攻」について、文部科学大臣から設置認可を受け、2027 年（令和 9 年）4 月の開設が決定しました。

先端融合地域共創工学専攻は、本学初の博士後期課程であり、久留米･筑後地域で初となる工学系博士課程となります。※本学調べ（2026 年 8 月時点）

「先端融合地域共創工学専攻」では、学部･大学院修士課程で培った工学分野の専門性を生かし、機械工学、モビリティ工学、建築･環境工学、電子工学、情報工学の 5 つの工学領域の知見を統合した先端研究に取り組みます。

特に、デジタル（実践的な AI 応用を含む）やグリーン（次世代環境エネルギー創生、環境調和）を融合･活用し、単一の専門分野のみでは解決が難しい複雑な課題に取り組みます。

地域社会や産業界との連携・協働を通じて、持続可能で豊かな未来社会の実現に貢献できる、高度な研究者、教育者、産業人の育成を目指します。

【学部から大学院まで、AI×PBL の学びを一貫して展開】

本学では、学部 1 年次の「AI 概論」、2 年次の「AI 活用演習」を必修科目として、AI を活用した学びを段階的に進めています。
博士後期課程においても、「地域共創 AI 実践プロジェクトⅠ・Ⅱ」を必修科目として配置。さらに、選択科目として、より発展的な「地域共創 AI 実践プロジェクトⅢ」を開講し、地域課題の解決や研究成果の社会実装、産学官連携を主導する実践力を深めます。
AI やデータサイエンス等の先端技術と工学の専門性、地域課題の解決を組み合わせた実践的な PBL 教育により、学部 4 年間、修士課程 2 年間、博士後期課程 3 年間を通じ、最大 9 年間にわたり学びの体制を構築します。
地域との連携・協働を通じて、課題の発見から解決策・実証までを行う研究活動に取り組み、社会や産業界の発展に貢献できる高度な人材を育成します。

【大学院博士後期課程「先端融合地域共創工学専攻」概要】

・研究科：工学研究科
・専攻名：先端融合地域共創工学専攻
・課　程：博士後期課程
・開　設：2027 年（令和 9 年）4 月
・学　位：博士（工学）
・基盤となる工学領域：機械工学、モビリティ工学、建築・環境工学、電子工学、情報工学
・専門分野：先端環境エネルギー・モビリティ工分野/先端電子情報分野

本専攻の設置・開設に関する概要や研究内容について、また、コース新設・再編など、本学が進めている教育改革について、報道関係者の皆様を対象とした説明会を近日中に開催する予定です。
詳細は改めてご案内いたします。

【本件に関するお問い合わせ先】
久留米工業大学　事業戦略課
電話：0942-65-3486　Email：senryaku@kurume-it.ac.jp
久留米工業大学公式サイト：https://www.kurume-it.ac.jp/